

高であり、まさに想定外の大津波であった。



貞観地震の記録として多賀城に古文書として残っていたが、学術書として利用されたが、津波の記録としてそれに基づく津波の痕跡調査はしていなかった。

10m を超す津波が海岸から仙台平野を 1000m 以上遡上したと推測されるが、ボーリング調査は行ったが、これは目的が地質調査で、津波の痕跡は「坪堀り抗」という幅広く穴を掘らないとその痕跡は判らない。

東日本大震災後、津波被害の検証と同時に「坪堀り抗」の調査を行い、貞観地震・津波の痕跡を発見したようです。